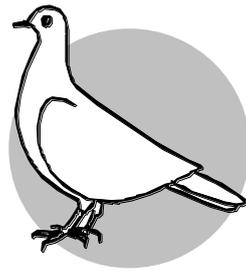


2018 年

献金の勧め



セブンスデー・アドベンチスト教団
スチュワードシップ部

2018年 献金目的

1月

- 6 教会献金
- 13 アドベンチスト・ミッション献金
- 20 教育献金
- 27 教会献金

2月

- 3 教会献金
- 10 三育学院神学科献金
- 17 教育献金
- 24 教会献金

3月

- 3 教会献金
- 10 アドベンチストワールドラジオ (AWR) 献金
- 17 教育献金
- 24 教会献金
- 31 メディア伝道献金

4月

- 7 教会献金
- 14 世界伝道献金
- 21 教会献金
- 28 教会献金

5月

- 5 教会献金
- 12 災害援助献金
- 19 教育献金
- 26 教会献金

6月

- 2 教会献金
- 9 千人宣教師献金
- 16 教育献金
- 23 教会献金
- 30 メディア伝道献金

7月

- 7 教会献金
- 14 世界伝道献金
- 21 教育献金
- 28 教会献金

8月

- 4 サインズ献金
- 11 支部機関献金
- 18 教育献金
- 25 教会献金

9月

- 1 教会献金
- 8 世界伝道献金
- 15 教育献金
- 22 教会献金
- 29 メディア伝道献金

10月

- 6 教会献金
- 13 信徒子女奨学金献金
- 20 教育献金
- 27 教会献金

11月

- 3 教会献金
- 10 年末犠牲 (グローバルミッション) 献金
- 17 教育献金
- 24 教会献金

12月

- 1 教会献金
- 8 アイアス/教育伝道特別献金
- 15 教育献金
- 22 教会献金
- 29 メディア伝道献金

すべてを与えられた神へ私のすべてをもって応えよう！

ミッション・ストーリーズ

(伝道地物語)

チャーロtte・イシュカニアン 著

山地 明訳

著者プロフィール

チャーロtte・イシュカニアンは、ミッション（伝道）を愛し、ミッションストーリー（伝道地物語）を愛しています。彼女は、大人用、10代用、子供用の季刊誌「教会伝道地物語」、及び、多言語の大人用「安息日学校研究ガイド」に出ている「インサイド・ストーリー」の編集をしながら、アドベンチスト・ミッションのために20年間働きました。

世界総会での45年間の経歴の中で、彼女は「リバティアー」誌、大人用安息日学校研究ガイド、及び、他の幾つかの部局の刊行紙の編集スタッフとしても働きました。現在は、バージニア州の美しいシナンドーア溪谷において引退生活を送っています。彼女は、近所に住む2人の孫たちと一緒に生活を楽しんでいて、近隣に住んでいる数人の避難家族のための奉仕をしています。彼女の旅行の話をもう少しして欲しいとチャーロtteに頼んだら、彼女は以下のような印象深い話をしてくれました。

「世界総会で働いている間に、わたしは空路でゆうに100万マイル以上、そして陸海の乗り物で数えきれない程の距離を旅行し、およそ4,000人の大人や、10代の人たちや子供たちと面接してきました。わたしは、これらの人々の多くと親しくなり、今も彼らのことをわたしの心の内に深く覚えています。わたしたちは、滅多に同じ言葉では話しませんでしたが、心の言葉でよく理解できました。そしてそれはすばらしいことでした。ナミビア共和国のヒンバに住んでいるムカンデイマウさんは、わたしを粘土とわらで作った彼女の家に歓迎してくださり、ヒンバの人々が今日どのような生活をしているかを見せてくれました。ほんの短い時間により多くのことをわたしに教えてくれた教師は、このすばらしい女性以外他にいません！

「わたしは、これまでに幾つかの興味深い冒険をしてきました。たとえば、フィリピンにおいて、わたしたちが大きな船からボートに乗り込もうとしていた時に、そのボートの持ち主がボートを動かした結果、ボートの底の泥でわたしの背中が泥まみれになりました。わたしの安息日用の衣服がです！ また、ブラジルでミッション・ストーリーに関する仕事で、1日のインタビューを終えての帰り道、わたしたちの運転手がおよそ時速60マイルで運転していて衝突事故を起こし、使用中だったノートパソコンはわたしの手から離れ、宙を舞いました。しかし、何かに（あるいは誰かに）ぶつかる前に、わたしはそれをうまくつかみ、ことなきを得ました。

時折、わたしたちは翼と祈りに乗って旅行しました。たとえばわたしが、世界総会の旅行勧告者から、コンゴの東方民主共和国へ向かう旅行は避けるようにと警告を受けた日のことです。わたしはその地域の上空を飛ぶ飛行機にちょうど乗ろうとしていました。わたしたちの飛行機は貨

物機でもあったので、わたしたちの荷物は座席の間に置かれ、そして編み目の「貨物箱」は乗客区分の後方にありました。この飛行機は呼吸に適した気圧を保てないものでしたので、乗客機が通常飛行する高度よりも低空を飛行しなければなりません。しかもゲリラ兵たちが戦闘している地域の上空をです。この飛行は、わたしが結果を見て大変感謝したフライトでした！

南スーダンにおいて、しばしば地域全体の舗装されていない沼地の道路上では、交通が止まるしかないのです。時には、高さが9フィートにも達する場所を横切っているトラックや四輪車によってわたちができています。そこにある唯一のアドベンチストの学校に向かって、西の方向に進んでいた時、わたしたちは泥だらけの道路上に止まっているトラックの列にやって来ました。1人の宣教師であるわたしたちの運転手は、何が問題であるかを確かめるために車外に出ました。日没までに学校に到着できなければ、道路上では安全ではないことをわたしたちは知っていました。1台のトラックが猛スピードで丸太の橋に向かっていて、彼がブレーキを踏んだ時、丸太が下の狭小な溪谷に転がり落ちました。そのトラックは、文字通り車台で宙づりになっていました。その宣教師は、わたしたちと一緒にいた2人のアフリカ人の若者と共に現場に帰ってきました。彼らは、橋を元通りにする助けのために他のトラックの運転手たちを召集し始めました。2時間後、わたしたちは進むことができました。（通常では、この出来事の原因となった運転手が元通りにする方法を考え出すことに完全に寄りかかっていたはずでした。そしてトラックは何日も、あるいは何週もその車列に留まっていたはずでした。）

すべての冒険を通じて、神様は常にわたしたちと共におられました。そしてわたしたちは、神様を崇め、他の人たちにイエスを紹介する以外に人生において他に何も求めない、すばらしく、忠実な人々と出会いました。」

1月6日 教会献金

アゼルバイジャン - 9才のイブラヒムと彼の母親は、イエスが神として礼拝されていない国において神の愛のメッセージを伝えています。ある日、バスの中で、イブラヒムは運転手に、「神様が地球を何日で創造なさいましたか」と尋ねました。運転手は知りませんでした。「6日間だよ」とイブラヒムは言い、「神様がなさることについてもっと知りたければ、「神様はわたしたちに平安を与えられる」という本を僕のお母さんから買う事ができるよ」と伝えました。

バスの他の乗客がイブラヒムの説明を聞き、本について尋ねました。母親は通常は本を売っていますが、彼女はイブラヒムに本を乗客一人一人に与えさせました。乗客がバスを降りた時、幾人かの乗客がその本を読んでいるのをイブラヒムは見ました。ある人は彼に、「君はどうして神様についてそんなに多くのことを知っているの？」と尋ねました。するとイブラヒムは、「お母さんと僕は、神様のご本と一緒に読んでいるからだよ」と答えました。

教会の出版所とイブラヒムの母親のような文書伝道者たちは、各地で福音を伝える助けをしています。あなたの献金は、多くの人々がわたしたちが愛している救い主について、もっと多くの事を学ぶ助けとなるのです。

すべてを与えられた神へ私のすべてをもって応えよう！

1月13日 アドベンチストミッション献金

マダガスカル - マーシャルは、カリスマ系の神学院で牧師になるための勉強をしました。彼が卒業した時、彼は返却を忘れていた1冊の図書館の本を手にしていました。彼は、牧師になるべき1つの教会が与えられました。ある日、彼は返却期限が過ぎた図書館の本を読み始めました。それは、「セブンスデー・アドベンチストの信仰 (28の基礎教理)」という題の本でした。彼は神学院で教えられてきた事柄と、彼が彼の会衆に教えていた事柄に疑問を感じ始めました。

彼は、彼が聖書について学んできた事柄、及び、彼は日曜日遵守の教会の牧師をこれ以上続ける事はできない事を、彼の会衆に伝えました。彼は、第七日安息日を尊ぶために彼に加わるようにと彼の教会員たちを招きました。しかし、彼はどこで安息日遵守の教会が礼拝しているかを知りませんでした。

1人のアドベンチストが、マーシャルが安息日を受け入れたことを知りました。彼は、マーシャルと彼の家族を訪問し、彼らの家から遠くない所で礼拝しているアドベ

ンチストの会衆について彼らに語りました。その家族は、アドベンチスト教会に出席し始め、やがてバプテスマを受けました。

ある日、マーシャルはその図書館の本を仲間の神学院生に手渡し、「この図書館の本がわたしに対してしてくれた事を、君のためにもしてくれるようにとわたしは望みます」と言いました。

神様が、イエスに導かれるために誰かを用いられる方法に、わたしたちの心は燃やされます。神様の仕えをお返しし、規則正しく献金を献げることによって、わたしたちは彼らの回心を可能にする助けをするのです。

すべてを与えられた神へ私のすべてをもって応えよう！

1月20日 教育献金

オーストラリア - フェイは、彼女の祖父母と9人のいとこ達と一緒に、オーストラリアの田舎に住んでいました。生活は困難でしたが、彼らは彼らの必要に対して神様に信頼していました。祖父は家から数時間は慣れた農園での仕事を得ました。祖父が家を離れる前に、彼は祖母に自分が持っていたすべてのお金を与えました。しかし、それでは10人のお腹をすかせている子供たちを養うには不十分でした。

祖母は、奇跡を求めて祈るために子供たちを呼び集め、それから彼らは歩いて町に出かけました。途中で女の子の1人が、汚れた封筒を蹴りました。祖母はそれを取り上げると、その中に10ドル紙幣を見つけましたが、名前が書かれていませんでした。「みんな、見てごらん！」と祖母は叫びました。「神様がわたしたちに、食べ物のためのお金を送ってくださったのよ！」彼らは神様の贈り物に対して神様に感謝し、それから急いで小さなお店に行きました。祖母は、粉ミルク、小麦粉、それに果物を買いました。彼らが家に着いた時、家族は、神様の誠実さと神様が彼らすべてに教えてくださった信頼の教訓に対して、再び神様に感謝しました。

わたしたちが、忠実に神様のものを神様にお返しする時、わたしたちの必要に備えてくださる神様に信頼する事ができるのです。

すべてを与えられた神へ私のすべてをもって応えよう！

1月27日 教会献金

日本 - 神様は、宿題を用いてわたしをイエスに導いてくださいました。日本の大部分の人々と同様、わたしはクリスチャンではありませんでした。しかしわたしの速記の教授は学生たちに、講義に出席して速記文字を練習するように励ましました。わたしは町でセミナーの広告を見たので、行こうと決めました。そのセミナーが連続伝道講演会であることをわたしは知りませんでした。

わたしはすべてのセミナーに出席しましたが、結局のところ宿題でしかありませんでした。1人の女の子が、わたしが聖書を学びたいかどうかと尋ねた時、わたしは同意しました。わたしは、神様が存在すること、神様がわたしを愛し、わたしとの関係を求めておられることを確信するようになりました。聖書研究は、わたしをアドベンチスト教会へと導きました。

1人の若者が仕事でわたしの家を訪ね、わたしの本棚に聖書研究講座があるのを見つけました。彼はわたしに、聖書講座を彼が学ぶことができるかどうかを尋ねました。わたしは学ぶことができると答え、彼を伝道集会へ誘い、彼と一緒に行きました。神様はわたしたち2人を神の家族に導いてくださいました。宿題の約束を通してわたしに御目を止めてくださった神様に、わたしは感謝しています。

イエスのために人々に近づく多くの方法を、神様は確かに持っておられます。什一を忠実にお返しすること、及び規則的に献金をお献げすることによって、神の伝道、及び、全世界への教会の伝道を支援する助けとなるのです。

すべてを与えられた神へ私のすべてをもって応えよう！

2月3日 教会献金

ブータン - ブータンは世界における最も孤立した国々の1つです。そこにはほんのわずかのクリスチャンが住んでいるだけです。しかし、神様は働いておられるのです。

テパは、アドベンチストの夫妻からイエスについて学び、世界における最初のブータン人アドベンチストの1人となりました。彼は、余儀なくブータンを離れなければなりませんでした。彼の同国人への情熱は失われませんでした。彼の息子、プラビーンがその情熱を引き継ぎました。プラビーンは、インドの国境近くにあるブータンの学校で教えています。彼は、生徒たちにキリストについて秘かに教えています。幾人かの生徒たちは、イエスを彼らの救い主として受け入れ、家に帰り、神の愛を彼らの家族に伝えています。

プラビーンは、「大争闘」の本を印刷し、それをブータンの人々に与えました。1人の男性が「大争闘」を読み、神様について彼が見出したことを隣人たちに伝えました。こうして数人の人たちがバプテスマの準備をしているのです。

数人のブータンのクリスチャンは、彼らの信仰を伝えた廉（かど）で、投獄されてきました。そこで、信徒たちは福音の宣教の方法を学ぶためにインドへ行っています。今日、およそ700人のブータン人がアドベンチスト教会に加わりました。しかしブータンに住んでいる大部分の人々は依然として、神様の愛や彼らのためのイエスの犠牲について聴かないまま、人生を送っているのです。

わたしたちの献金は、ブータンにおける神のみ業や、その他の地域の訓練学校や文書を通しての働きを支えているのです。これらの人々が神様の愛のメッセージを聞くことができるように、献金をお献げしようではありませんか。

すべてを与えられた神へ私のすべてをもって応えよう！

2月10日 三育学院神学科献金

ドイツ - ウーテは、クリスチャンは風変わりな弱い人間だと考えていました。ところが彼女の隣人であるフランクが、ウーテの娘をパスファインダーに出席するように誘いました。ウーテの娘は出席し、パスファインダーが好きになりました。次いでフランクは、ウーテを教会におけるパスファインダーのプログラムに招待しました。ウーテは躊躇しましたが、娘のことを考えて教会に行きました。彼女は、奇妙な人々と出会うと考えていましたが、教会の人たちは温かく親切で、ごく普通の人たちでした。

ウーテは、教会に出席し始め、自分自身のために聖書を読もうとしました。

しかし、彼女は聖書を理解できなかつたので、コンピューターで、彼女が読んでいた事柄を理解する助けを探しました。彼女は、預言の声聖書通信講座を見つけました。彼女は早速申し込み、増していく熱意をもって、講座を全部終了しました。彼女は、講座の教師が、彼女の多くの質問に個人的に答えてくれたことを嬉しく思いました。

「わたしは神様について多くのことを学びました」とウーテは言い、「わたしは、人生の衝撃の中でわたしを助けてくださる天の愛するお父様がおられることが分かりました。物事は完全ではありません。しかし、『戦い』の中にイエス様はわたしと共におられ、わたしから決して離れない、と約束なさいました」と話しました。

わたしたちが出会う誰が、イエスを知る必要がある人であるか、わたしたちにはわかりません。わたしたちの献金は、誰かの人生を作り変えることができる文書や聖書研究講座を準備する助けとなるのです。

すべてを与えられた神へ私のすべてをもって応えよう！

2月17日 教育献金

ナイジェリア モウサーは、政府のために働きました。彼の妻は教師でした。しかし、彼らには数週間給料が支払われませんでした。モウサーの妻が男の子を産んだばかりでしたので、モウサーは安息日に感謝献金を神にお献げしたいと思っていました。しかし、手元にはほんのわずかのお金しかありませんでした。そのお金も彼は、子供たちに献金するようにと与えました。彼は、神にお献げする感謝献金を持っていないことを悲しく感じました。

教会の執事の1人が、彼の肩をたたき、「男の人が外であなたに会いたいと、待っていますよ」と言いました。モウサーは、その執事の後について外に出て、その男の人に会いました。しかし、何故その人が教会に来たのでしょうか？その人は、アドベンチストではありません。モウサーは、その男性に挨拶をし、2人は数歩歩きました。それからその男性は、何枚かの紙幣を取り出し、それらを驚いているモウサーに手渡しました。「わたしは、これをあなたから借りていたことを忘れてはいませんよ」とその人は言いました。しかし、モウサーはすっかり忘れていたのです。彼はその人に感謝し、急いで教会に戻りました。

モウサーは、男性に手渡されたお金の什一を計算し、それから何枚かの紙幣を感謝献金のために取り出しました。

その後、物事はより容易に進みました。しかしモウサーは、ちょうど必要な時に神様が献金をいかに備えてくださったかを決して忘れないことでしょう。

献金をお献げすることは、常に祝福です。

すべてを与えられた神へ私のすべてをもって応えよう！

2月24日 教会献金

イースター島 - 長年の間、マリアは、イースター島における唯一のアドベンチストでした。彼女は、3,000人の島民に彼女の信仰を伝える方法を祈りました。1人の友人が、彼女が持っている「ボイス・オブ・ホープ」(希望の声)のカセットテープを、地域のラジオ局に再放送して頂くように貸したらどうか、と提案しました。聴取者が聖書についてもっと知りたいと求めた時、マリアは彼らにチリのボイス・オブ・ホープから出版されている聖書研究ガイドを与えました。

それからマリアは、この島に教会が与えられるように祈りました。1人の牧師が島を訪れたので、マリアは誰かが島に来て、神様についてもっと知りたいと求めている人々に教えてくれる助けを願いました。その牧師は、彼の妻を送りました。1か月の間に、30人の人々がマリアの聖書研究グループに加わったのでした。

今日、イースター島には、1つのアドベンチスト教会が存在しています。更に、マリア自身の息子が、彼の母親が設立するのを助けたその教会を指導するためにイースター島に帰るという計画で、現在神学を学んでいます。

マリアは、彼女の小さな島に対する大きな夢を抱きました。そして神様は、彼女の夢を実現してくださったのです。神様の仕えをお返しし、わたしたちの献金を忠実に献げする時、どんな神様の夢も現実のものとなるのです。

すべてを与えられた神へ私のすべてをもって応えよう！

3月3日 教会献金

アゼルバイジャン - アナは、市営墓地行きのバスの中で静かに涙を流していました。1人の婦人が、傍らに座り、アナに対して慰めの言葉をささやきました。「死においてさえ、希望があるのですよ」と彼女は言い、「イエスさまが再び来られるのです」と語りました。その婦人はアナに、住所が記された1枚のカードを渡し、もっと勉強するために彼女が行くことができる教会について話しました。

アナは、それまでキリスト教会の中に1度も入ったことがありませんでしたが、彼女と彼女の娘、グネルは行きました。彼らは入り口で躊躇しましたが、1人の教会員は彼らを温かく歓迎しました。

礼拝後、アナは、バスの中で彼女が出会った婦人について説明しましたが、その説明に該当する人を誰も知りませんでした。「おそらくあなたは、1人の天使に出会ったのですよ」と牧師は言いました。

それからアナとグネルは、牧師と一緒に聖書研究を始めました。やがて彼らは、バプテスマを受け、アドベンチスト教会員となりました。現在、彼らは、彼らの家庭での小グループの世話をしています。彼らの人生は、バスの中で慰めと招待の言葉をささやいた1人の婦人によって、造り変えられてきたのでした。

神様は、人々をご自身に連れて来るための、ささやきの言葉を含む多くの方法を持っておられます。神の仕えを忠実にお返しし、わたしたちの献金をお献げすることによって、多方面の伝道が支えられているのです。

すべてを与えられた神へ私のすべてをもって応えよう！

3月10日 アドベンチストワールドラジオ献金

世界総会AWRによる奨励文

知られていない地域 - ある地域は、宣教師を送ることが危険です。クリスチャンになることでさえ危険なのです。そのような場所では、ラジオやインターネットのようなメディアが、人々に福音を伝える唯一の手段となり得るのです。

アドベンチスト・ワールド・ラジオ局は、これらの地域に住んでいる19才の若者アミンから、1通のEメールを受け取りました。アミンは、イエス様について学ぶことができるように、1冊の聖書が欲しいと頼みました。AWRは、彼の国語で書かれている聖書へのインターネットリンクを彼に送りました。数週間後、アミンは、「毎日わたし

は聖書を読んでいます。わたしは、わたしの救い主としてイエス様を受け入れました」と返信しました。

2か月後、アミンは、彼の家族は彼の新しい信仰について学びましたと言って、再びeメールを送りました。「わたしの父親は、わたしのコンピューターを取り上げ、『もしもわたしがイエスに従うならば許さない』と脅しました。警察はわたしを脅して、『イエスに従うならば、テロリストと呼ばれる』と言いました。わたしは間もなく投獄されるかもしれません。どうかわたしのためにお祈りください。わたしはイエス様を愛していますので、イエス様のためにいつでも死ねます」。

これがアミンが送ってくれた最後のメッセージでした。神様のみが彼に何が起こったかをご存知です。

教会のメディア伝道の一つである、アドベンチスト・ワールド・ラジオは、世界中の暗黒の場所を真理の光で照らし続けています。皆様の忠実な管理者の精神は、これらの働きにも役立っているのです。

すべてを与えられた神へ私のすべてをもって応えよう！

3月17日 教育献金

キューバー ヘクターは、土台工事の型枠の中にセメントを流し込むために、セメント用トラックを建築中の場所に十分に後退させることができませんでした。彼は、料理用の鍋やバケツを手にしてセメント用トラックに近づく男女や子供たちの列を見守っていました。彼らは、何トンものセメントを建築現場に手で運ぼうとしていることを、彼は知っていたのです！

「これはどんな種類の建物ですか」とヘクターは驚いて尋ねました。それがアドベンチスト教会であることを知ったヘクターは、教会についてもっと知りたいと願いました。1人の教会員が、彼に聖書を与えました。間もなく彼はすべての自由時間を使って聖書を読みました。彼は、神様について学んだことを自分の家族に伝えました。こうして間もなく家族がアドベンチスト教会に通い始めました。やがて彼らはバプテスマを受けました。

安息日遵守のためにヘクターが仕事を失った時、彼は、他の町で彼の信仰を伝えるようにと招かれました。1年で20人の人々が家の教会に出席するようになり、その人数は今も増加し続けています。

ヘクターは、新しい教会を始めるために別の町に移動しました。「わたしたちは、人々がイエス様に会う備えをするのを助けるために、できるすべてのことをしなければなりません」とヘクターは言いました。ヘクターのような献身的な信者がいるので、キューバにおける神のみ業は急速に前進しています。

わたしたちの什一や諸献金は、200以上の国々における神のみ業を支えています。神の什一をお返しし、献金を献げることにおける皆様の忠実さが、この国や世界中にいる他の人々に達する教会の働きを助けるのです。

すべてを与えられた神へ私のすべてをもって応えよう！

3月24日 教会献金

エクアドル - ジョーデイの家族は多くの困難に遭いました。しかし、12才のジョーデイは、祝福されたと感じています。彼の母親は、痛みのひどい病気にかかり、歩くことができません。彼の父親は、妻の世話のために多くの時間を使うために仕事を失いました。「わたしたちがどうして良いか分からないとき、わたしたちの心配を神様に委ね、神様に解決していただきます。神様はわたしたちのことをお忘れにならないことを、わたしは知っています」と彼は言います。

ジョーデイは、彼の家族の問題を考え続けたくありません。彼は、神様がいかに彼らを祝福してくださったかについて語りたく願っています。牧師が彼に教会で説教するように頼んだ時、彼は説教ができるかどうか確かではありませんでした。しかし彼は、祈りました。神は彼を祝福してくださいました。「それはわたしの人生を造り変えました！」と彼は言っています。

現在ジョーデイは、神様が彼らの生活の中であることができる事柄を、他の人々に話すことが大好きです。「わたしは、神様が彼らを愛しておられ、彼らの人生に対するご計画を持っておられることを、すべての人に知って欲しいのです。わたしは彼らが神様の子どもたちであることを彼らに伝えます。彼らはそれを未だ知っていないだけなのです」。ジョーデイは彼の人生を神様に献げました。神様は、わたしたちにも同じことをするようにと、招いておられます。

神様がわたしたちの人生を完全に支配なさるように、わたしたちを神様に委ねるとき、神のみ業のために献金することが喜びとなるのです。

すべてを与えられた神へ私のすべてをもって応えよう！

3月31日 メディア伝道献金

インド - マリーは、裕福な女性のために働きました。マリーは自分にバプテスマを施した牧師が町で集会を開催していることを知り、雇用主の女性を出席するようにと誘いました。その女性は出席し、公衆伝道者が決心を訴えたとき、その裕福な女性はイエスを自分の救い主として受け入れました。

彼女はその伝道者に言いました。「わたしは、イエス・キリストをわたしの救い主として今晚受け入れます。それは、あなたが語られた流暢な言葉によってではなく、わたしの忠実な従業員であるマリーのゆえにです。彼女の生活は、他の人々への親切

と無我の精神と愛の行為によって飾られています。わたしの娘が亡くなったとき、マリーはわたしを慰め、墓の彼方にある命の希望をわたしに与える聖書の約束を読んでもくれました。キリストの十字架のふもとにわたしを導いたのは、マリーの優しいクリスチャンの生き方でした。」マリーは、真の伝道者です。何故ならば、彼女が福音を実践しているからです。

もしもわたしたちが、マリーのような神の謙遜な僕としてもっと多く生きるならば、何と多くの人々がキリストを見出し、十字架のふもとに行くことでしょう。

イエス様を知る必要がある他の人々に、わたしたちが喜んで近づくことを含むわたしたちの行動や態度の中に、神様へのわたしたちの愛が反映されるのです。

すべてを与えられた神へ私のすべてをもって応えよう！

4月7日 教会献金

中国 - パンは、中国の南西の山の中で生活しています。彼は、歌うことが大好きです。ある日、彼は建物の中で歌っている声を耳にしたので、立ち止まって聞きました。彼は、その建物の中に招かれ、そこがアドベンチスト教会であることが分かりました。教会員は彼に讚美歌集と何枚かのトラクトを渡しました。

ある日、パンは、あまりにも夢中でトラクトを読んでいたため、世話をしている羊のことをすっかり忘れていました。彼が目を上げて見ると、羊がいなかったのです！パンは、雨雲が近づいているので必死で羊を探しました。その時彼は、神様がすべてのことをご存知であること——彼の羊がどこにいることさえ——知っておられることを思い出しました。彼は、ひざまずいて祈りました。彼が目を開いたとき、彼の羊の群れが彼の周りを囲んでいたのです。パンは、村に帰り、神の奇跡についてすべての人たちに語りました。神様へのパンの信仰は成長し、彼はパプテスマを受けました。彼は、村から村へと出かけて行って家の教会を設立しました。パンの証によって、大勢の人々がパプテスマを受けました。

神様は、求めている人々の心に近づくために、多くの手段を持っておられます。パンの場合、彼の音楽へ対する愛でした。

神様は、なさろうと思えば、地上のすべての魂にご自身で近づくことができになります。しかし神様は、わたしたちすべての者たちを神様の伝道に参加させようと求めておられるのです。それが「全員参加伝道」なのです。わたしたちが忠実に神様の仕えをお返しし、自由献金をお献げするとき、わたしたちは神のメッセージを地上のすべての人に伝える助けをしているのです。

すべてを与えられた神へ私のすべてをもって応えよう！

4月14日 世界伝道献金

ブルガリア - ブルガリアのソフィアに住んでいる、アントニアと彼女の姉妹シルビアは、彼らがイエス様のために人々に近づき、友だちを作ることができる、強制されることのない場所を長い間夢見てきました。

「地の塩となれ」というイエス様のご命令に心を動かされて、彼らは故郷の町で、「地の塩カフェ」を始めました。それは、ジュースバーとパンのカフェに、キリスト教書籍の図書館と書店、及び便利なイベント会場とを結び合わせたものです。美しいポス

ターには、来客に感動を与える聖句が書かれています。牧師のチームによる聖書の学び、料理教室、人間関係セミナーも開かれています。

「わたしたちは、人々と交わり、彼らの必要を満たし、それから神様と共に人生を歩むようにと彼らを招かれたイエス様の模範に従いたいです」とシルビアは言いました。

オープンで友好的なクリスチャンの「地の塩カフェ」は、菜食主義者と無卵乳食者の主要な旅行者のためのウェブサイトの名を連ねています。また、この店はもっと福音を求めて飢え渴いている人たちへの入り口ともなっています。

このカフェのような都市型伝道センターは、キリストの伝道法を実践する場として仕えています。わたしたちの忠実で規則的な献金は、世界中のより多くの人々が、都市型伝道センターを通して、イエス様と出会うのを助けるでしょう。

すべてを与えられた神へ私のすべてをもって応えよう！

4月21日 教育献金

フィリピン - ロベルトは、神とより近く歩くことに飢えていたパン屋さんです。2人のキリスト教信者たちがロベルトの家庭を訪問したとき、ロベルトは、聖書研究会を持つために彼の家の部屋を使うようにと提案しました。それから彼は、客や友人たちをこの聖書研究会に出席するように招待しました。

ロベルトは、信徒たちと一緒に聖書を学んだとき、平安を感じました。日曜日は安息日ではないことを学んだとき、ロベルトは、聖書の安息日を遵守するように決心しました。ところが彼の妻はそれに反対し、「土曜日は、わたしたちの最も利益を得る日です」と指摘しました。「もしあなたが、土曜日にパン屋を閉じれば、どのようにしてあなたは借金を返すつもりですか？」しかしロベルトは、神様に従うように決心していました。彼は、安息日にパン屋を閉めました。ところが、彼の妻が驚くほど、彼らは7日間で得た以上に、多くのお金を6日間で得たのです。

ロベルトは、神の導きを祈り、バプテスマを受けました。やがて彼の妻も、自分の人生をキリストにお献げしました。「わたしたちが神様に従うとき、神様はわたしたちを祝福してくださいました」とロベルトは語っています。

神様は、わたしたちの人生と、わたしたちの収入の一部とを、神様に献げるようにとわたしたちに求めておられます。神様がわたしたちのためにしてくださったことを理解するとき、わたしたちは神様に従わないでいることができるでしょうか。

すべてを与えられた神へ私のすべてをもって応えよう！

4月28日 教会献金

ニュー・カレドニア - ニュー・カレドニアという南太平洋の小さな島国は、オーストラリアの東、1,000マイルに位置しています。ニュー・カレドニアの最も東側の島は、マレー島です。およそ6,000人の島民が住んでいます。

1人の牧師がこの島を訪問し、一部、世界教会伝道資金の援助を受けて、連続の伝道講演会を開催しました。島全体からおよそ200人の人々がこの伝道集会に出席しました。

講演会后、新しい信者たちのグループは、バプテスマに備えるために、安息日に集会を始めました。島の伝道教区は、これらの新しい信仰の小さな若芽が大きく成長して強くなり、世界の最も遠隔地の一つの場所に信仰の根を深く降ろすようにと、一つのチャペルを建てるために備えています。ニュー・カレドニアのマレー島に住む新しい信者たちは、彼らの人生に対する神のご計画を発見するように彼らを助けてくださる皆様に感謝しています。

年間を通して定期的に献げられているわたしたちの献金の一部は、ニュー・カレドニアのような場所における神の伝道を、新たに開始したり、更に推進したりする助けとなっています。組織的に収入の一定の割合に基づいて献げている献金を継続しましょう。それによって世界中のより多くの人々が神様の愛のメッセージを聞くことができるのです。

すべてを与えられた神へ私のすべてをもって応えよう！

5月5日 教会献金

フィジー - ミヤーはアドベンチストが1人もいないある村で子供聖書クラブを始めました。このクラブがとても大きく成長したので、彼らはより大きな建物に移動しなければなりませんでした。スージーは、この聖書クラブに出席していましたが、彼女の祖母がもう行っては駄目だと言いました。しかしスージーは、ときどきこっそりと外に出て、窓越しに話を聞いていました。

それからしばらくすると、ミヤーは聖書クラブを開催するために、その村に行くことができなくなってしまいました。彼女は、自分が教えてきた子供たちがどうなるだろうかと心配しました。

それから数年後、ミヤーがその村を訪問したとき、そこには1つのアドベンチスト教会が建っていました。彼女は、1人の若い女性が次のように言っているのを聞きました。「わたしが小さかった頃、1人の女性が子供たちのために聖書クラブを開催しました。わたしの祖母はわたしに出席させませんでした。そこでわたしは、外で立ったまま聞いていました。この女性がわたしたちに教えてくれたことをわたしは覚えています。そして、アドベンチストたちが集会を開催するためにやって来たとき、わたしはその教会に加わりました。わたしの夫と子供たちは、今日、アドベンチストです」。

礼拝後、スージーはミヤーに、あの聖書クラブの子供たちの大部分がアドベンチストになったことを告げました。それを聞いてミヤーは、彼女の聖書クラブが神様のためにすばらしい収穫へと成長する多くの種を蒔いていたことを知って、大変喜びました。

わたしたちが話したり、行なったりする事柄によって、1人の人生がいかに造り変えられるのかということは、わたしたちには決して分かりません。わたしたちの献金は、わたしたちに代わって、世界中の人々に語るのです。

すべてを与えられた神へ私のすべてをもって応えよう！

5月12日 災害援助献金

災害飢饉救援のためのADRA(アドラ)による特別な訴え

ケニア - チポライと彼女の夫には、3人の小さな女の子と1人の男の赤ちゃんがいました。すべての両親たちと同じように、彼らは、子供たちのために最善のものを求めています。しかし、多くの人たちと異なり、彼らは、子供たちをその日1日食べさ

せることができるかどうかは分かっていませんでした。厳しい干ばつが、彼らの食物を備えた畑を台無しにし、彼らの収入源の牛や山羊を殺しました。

チポライは、どんな母親でも感じる苦痛を語っています。「わたしは、子供たちがお腹をすかせて泣いているとき、本当に苦痛を感じました。わたしは、何もできませんでした。子供たちに食べさせることができないことほど最悪なことは他にありません」。

アドラは、チポライと彼女の小さな子供たちを、災害飢饉救援資金で助けることができました。しかし、東アフリカには飢饉に直面し、現在助けを必要としているもっと大勢の人々がいるのです。アドラが対応している自然災害と同じように、飢えも短時間のうちに家庭や社会を破壊するのです。そしてそれによって最も傷つきやすいのは、チポライの大切な小さな子供たちのような子供たちです。

災害飢饉救援のために今日の献金をささげることによって、アドラと共に活動することはわたしたちにとっての祝福です。災害が起こったり、飢饉によって命が亡くなったりするまで、多くの人々は献げるのを控えています。しかし今日は、事態がより悪くなることを皆さんが防ぐための良い機会なのです。

すべてを与えられた神へ私のすべてをもって応えよう！

5月19日 教育献金

パプアニューギニア - ラオ牧師は、毎週什一と諸献金を教会から教区事務所へ持って行って行っていました。彼が狭い道を歩いていた時、4人の男たちが武器を手にして飛び出してきて、『その金をよこせ！』と要求しました。

「これは神様のお金です」と牧師は警告しました。「俺たちによこせ！」と強盗たちは脅しました。

強盗たちは、お金の入ったバッグを奪って逃走しました。ラオ牧師は、盗みを報告し、事務所の人にこの強盗たちが悔い改めるように祈ってください、と頼みました。

翌週、ラオ牧師が同じ道を歩いていた時、あの強盗たちがバッグを手にして現れました。1人の男が牧師にバッグを差し出し、こう言いました。「この金は戻す。受け取れ！俺たちがビールを買おうとしたら、手が震えちまってこのバッグを開くことができなかつたんだ」

『神様は、君たちを愛しておられるんだよ』とラオ牧師は言いました。「神様は、君たちのためにより良い人生を計画しておられるんだ」男たちは、やがて心を神に献げ、バプテスマを受けました。今日、彼らはラオ牧師が話した通り、より良い人生を送っています。

もしもわたしたちが神の什一を神から奪うとき、わたしたちはこの強盗たちのように盗みの罪を犯しているのです。神のものを神にお返しし、それに加えてわたしたちの自由献金をいつもお献げしましょう。

すべてを与えられた神へ私のすべてをもって応えよう！

5月26日 教会献金

ハイチ - ロセリンは裕福だ感じていました。彼女は、3頭の雌牛を飼っていました。彼女が神様にお献げしていた雌牛が子牛を産もうとしていました。そんなとき、神様の雌牛が盗まれたのです。

この盗難を報告するために町に向かっていた時、ロセリンは牧師に会いました。「神様の牛が盗まれました」と彼女は言いました。「泥棒が雌牛を返すように祈ってください。だってその牛は神様のものですから」。牧師は同意しました。

翌日、ロセリンは牧師の家に走って行きました。「神様の牛が家に帰ってきました！」彼女は興奮して言いました。「泥棒がその牛を返しにきたのです。あの牛が泥棒を何か悩ましたようで、それに耐えることができなかつたと彼は言いました。それで彼は牛を返しにきたのです！彼は、その牛を奪ったことを謝りさえしました。わたしは彼にその牛は神様のものなので、神様が彼を悩まされたのだと言いました」。それからロセリンは、牛が戻されたことを報告するために、町に急いで行きました。

神様の雌牛は、健康な子牛を産みました。その子牛が十分に成長したとき、彼女はその牛を売り、お金を神様におささげしました。

ハイチは、西半球の中で最も貧しい国です。しかしそこに住んでいる神の民は、喜んで献金を献げています。わたしたちは、それよりも少なく献げるようなことがあつてはならないのではないのでしょうか。

すべてを与えられた神へ私のすべてをもって応えよう！

6月2日 教会献金

オーストラリア - ライアンは、7才の誕生日と誕生パーティーを心待ちにしていました。彼が貰うプレゼントではなく、彼の家族伝道計画のために、友人たちが彼のために準備してくれた献金を、心待ちにしていたのです。

ライアンの家族は、島の人々にイエス様について語るために、南太平洋の島国であるバヌアツ共和国に行こうとしていました。彼らは、配布する書籍や読み物を必要としていました。彼の誕生日祝いのお金で、これらの必要品を買おうと思っていました。彼の誕生日の後、ライアンと母親は、本を買うためにアドベンチスト・ブックセンターへ行きました。2人は、バヌアツの人々のために、本とパンフレットと聖書研究ガイドを買いました。

ライアンの家族は、子供たちのために、1週間の連続集会を2回開催しました。参加者の一部の子供たちは両親を伴い、100人以上の子供たちがやって来ました。人々は、ライアンの家族が子供たちに与えた本や資料を頂いてとても喜んでいました。

ライアンは、心をわくわくさせて言いました。「僕はただの子供だけれど、イエス様のために沢山のことができるんだ！」

わたしたちの献金は、世界中の人々のために、多くの国語で書かれている文書を含む伝道事業を支えているのです。

すべてを与えられた神へ私のすべてをもって応えよう！

6月9日 千人宣教師献金

ブルガリア - タチアナは、神様は存在しないと確信していた物理学と天文学の教授でした。

彼女の兄がクリスチャンになったので、神様に機会を与えようと彼女の説得に努めました。しかし彼女は、耳を傾けませんでした。彼は、聖書を学ぶための聖書通信講座や読み物を郵送しましたが、彼女は封筒を開こうとしませんでした。

ある日、タチアナは兄の信仰が間違っていることを示すために、兄が送って来ていたものを読もうと決心しました。彼女は、いくつかの封筒を開き、講座を全部読みました。その内容が興味深かったので、彼女はすべての設問に書き込みました。彼女は、自分が次の課を受け取るのが待ち遠しくなっていくのが分かりました。

彼女は、聖書を読み始め、彼女の住んでいる町にある小さなアドベンチスト教会を訪ねました。そこでタチアナは、彼女の人生において初めて、神様のご臨在を体験し

ました。彼女と彼女の兄は、彼女の経験について語り合い、2人は一緒に祈りました。頑固なタチアナは、自分がイエス様を愛するようになったことを自覚しました。

祈っている兄と、アドベンチスト教会によって備えられた文書は、タチアナがイエス様を見出すのを助けてくれました。あなたの献金を用いて神様がなさる働きを想像してみてください！

すべてを与えられた神へ私のすべてをもって応えよう！

6月16日 教育献金

カンボジア - スピリット・ヒルの周囲に住んでいる村人たちは、いつものように彼らの稲の苗を植えました。肥沃な土地で稲は急速に成長しました。ところが、根切虫がこの地域に侵入し、柔らかい根を食べ、稲を駄目にしてしまいました。かつては緑の田んぼは、干上がって茶褐色になりました。ところが、イーさんの田んぼだけは例外でした。彼の稲は緑色で健全に育ちました。

「あなたの田んぼからどのようにして虫を防いだのですか？」人々は彼に尋ねました。イーは、悪を追い出す力を持っておられる生ける神様について人々に語りました。

イーが彼の田んぼで収穫した時、他の年の2倍の収穫がありました。イーは、彼の神様について学びたいと願ったいくつかの家族と一緒に、お米の十分の一を教会に持って行きました。

真理の種は他の村々でも芽を出し、イーの神様が稲を守ってくださった結果として、2つの安息日学校が開校できるようになりました。神様の誠実さの証しとして、今日、セブンスデー・アドベンチスト教会が、イーの村の丘の上に建っています。

神様は、わたしたちに対して誠実です。わたしたちは、神様に対して誠実でしょうか？

すべてを与えられた神へ私のすべてをもって応えよう！

6月23日 教会献金

ベニン (西アフリカの共和国) - 1人の泥棒が教会に加わるまで、信者たちの小グループはベニンにある漁村で礼拝していました。この泥棒はフランシスという名前で、窃盗団のリーダーでした。ある安息日、聖書研究に行く途中のアドベンチストたちは、フランシスに出会いました。信者たちは、彼らの信仰をフランシスに伝え、彼に聖書を学ばないかと誘いました。フランシスは、それに同意し、やがて教会に出席し始めたのです。

数人の村人たちが教会のカヌーに乗っているフランシスを見たとき、彼らはフランシスを引きずり降ろし、牢獄に入れました。しかし信者たちは、警察にフランシスを

釈放するように訴えました。警察は同意しましたが、もしも彼が法律を破ったならば、牢獄に投げ込まれるとフランシスに警告しました。

フランシスの窃盗団の仲間たちは、フランシスを戻すようにと求めました。フランシスが仲間の元に帰って来なければ、教会のカヌーを盗むと脅しさえしました。しかし、フランシスは、クリスチャンたちには手をつけるな、と命じました。

フランシスは、バプテスマを受け、教会の指導者となり、その村における信頼される働き人となりました。教会は、フランシスがアドベンチストになって後、成長しました。

皆様の伝道献金は、この会衆が、フランシスを神様の愛へと導いたように、他の人々を導き、暗黒の社会への光として輝く教会を建設する助けとなりました。皆様の献金は、毎日多くの人々の人生を造り変え続けるのです。

すべてを与えられた神へ私のすべてをもって応えよう！

6月30日 メディア伝道献金

インド - 教区は、神様の愛を伝える50人の信徒伝道者が必要とされていたので、サングは志願しました。

「しかし、サング」と牧師は言い、「あなたは、読み書きができないのでしょうか。訓練のプログラムの間、どのようにしてノートを取るのですか？どのようにして聖者研究を授けるのですか？」と尋ねました。

「妹のスージーがわたしの代わりにノートを取ります」とサングは答えました。「わたしは、聖書の学びを全部暗唱します」。

牧師は同意し、サングとスージーは訓練プログラムを修了しました。彼らは1つの村で働くようにと任命されました。

2人は、彼らの新しい村のすべての家庭を訪問し、人々のために祈り、神様の愛を伝えました。1か月後、サングは伝道講演会を開いてほしいと牧師にお願いしました。驚いたことに、牧師がその村を訪問して、多くの求道者たちを見たのです。講演会が開催された時、サングは、彼と学んだ人々を連れてきました。講演会の終わりには、100人の新しい信者たちがバプテスマを受けました。サングは、神の国を打ち立てるために、神様が文盲である自分を用いられたことを大変喜びました。

神様は、他の人々に神様のメッセージを伝えるために、どんな人でも用いることができになります。唯一の資格は、メッセージを伝えたいと願う心です。神様も、神のメッセージを伝え広めるために、ご自身の什一とわたしたちの諸献金とを用いられるのです。

すべてを与えられた神へ私のすべてをもって応えよう！

7月7日 教会献金

マダガスカル - 「神様は、あなたの霊よりももっと力強いお方です」とその訪問者は言いました。ラベルは、疑い深げに自分よりも若いその男性を見つめました。ラベルは、霊の力に50年以上も仕えてきていたのです。彼は、良いことのために彼の力を使い、その力は神からのものだと考えていました。

ラベルは、伝道集会に出席しました。彼は、彼の力がどこから来たのかを自分自身で知りたかったのです。間もなく彼は、その力が神からのものではないとの確信を得ました。牧師の助けによってラベルは、神様が悪霊を支配し、それを追い出してくださいようにとお祈りしました。それから彼は、聖霊が彼の心に入り、彼を祝福なさるようにとお願いしました。

ラベルが彼の霊を捨てて、アドベンチストになったという噂が急速に広がりました。その日以来ラベルは、神様にのみ仕えました。彼は、神様がラベルが持っている残りの時間を用いて、他の人々を暗闇から神様の光の中へと導くように祈っています。

神様の仕一とわたしたちの諸献金は、神の光を世界中の暗闇に閉ざされた魂にもたらず助けとなるのです。皆様は、依然として暗闇の中に生きている人々にどれほど多くの光を喜んでもたらしめますか？

すべてを与えられた神へ私のすべてをもって応えよう！

7月14日 世界伝道献金

中国 - ライとピンは、多くの村人たちが地域の言い伝えにすっかり染まっている中国の田舎で働く、教会の開拓伝道者です。

彼らは、「イエス様とは誰ですか。クリスチャンとは何ですか」と彼らに尋ねた、その地域の1人のメイという名の女性に出会いました。ライとピンは、彼女を愛し、彼女の罪から彼女を救うためにこの世にやって来られた創造主なる神様について、メイに忍耐強く教えました。神様の愛について学んで、メイの心は喜びに満たされました。

しかし、彼女の夫は、神様を礼拝したいという彼女の願いに反対しました。彼は、彼女をたたき、ののしり、彼女の聖書を彼女から奪い取りました。そして、彼女が礼拝に行くのを妨げようと、戸口を閉めてしまいました。

メイは、夫の心が静められるようにと神様に祈りました。ちょうどその時、1人の男性が、彼女の夫に会うために家にやって来ました。その隙に、信者の小グループと一緒に礼拝するために急いで戸外に出ました。

メイの夫は、伝統的な彼の信念に依然固執していますが、今は彼女が神様を礼拝するのを許しています。やがて他の村人たちは、メイと一緒に、彼らの個人的救い主としてイエス様を受け入れました。

ライとピンのような伝道の最前線にいる働き人たちは、しばしば逆境の中で働いています。神の仕えを忠実にお返しし、収入の一定の割合を諸献金として定期的に献げることは、世界中の未開拓の地において、イエスの愛のメッセージを伝える助けとなるでしょう。わたしたちの忠実で定期的な献げ物は、伝道者たちが世界中の人々に出会おうのを助けているのです。

すべてを与えられた神へ私のすべてをもって応えよう！

7月21日 教育献金

ベルギー - ポールは、冒険が大好きですが、彼の父親はどの教会にも入ることを拒みました。そこでポールの叔父が彼を連れて行きました。ポールの母親は、彼が何を学んでいるのかを知るために、ポールを連れて行き始めました。彼女は、指導者たちが彼女の息子を教えていることの素晴らしさに対して指導者たちをほめました。

ポールの母親がポールの資格授与式に出席できなかったので、彼女は夫に彼を連れて行くように頼みました。教会には絶対に入らないと約束したにもかかわらず、ポールの父親は授与式に出席しました。父親は、子供たちが学んでいることに感銘を受けて、ポールを集会に連れて行き始めました。彼の妻が聖書研究を始めないかと尋ねたとき、彼は反対しませんでした。

ポールの父親は、クラスの指導者に「わたしはまだ信じていませんが、あなたが子供たちに教えていることは素晴らしいことです」と言いました。

神様は、子供たちの生活や、パスファインダーやアドベンチャー等のプログラムを通して、両親たちの心に働いておられます。わたしたちの献金は、これらのプログラムが実現できるように助けています。

すべてを与えられた神へ私のすべてをもって応えよう！

7月28日 教会献金

カメルーン - サロメは、神様の仕えをお返しすることも、諸献金を神様にお献げすることも大切であると信じています。彼女は、レタスを11列植えました。そのうち、

1列は什一のため、1列の半分は諸献金のため、そして残りは食べるか、売るかのためです。彼女は、水を注ぎ、雑草を取り、畑のために祈りました。

収穫時になってみると、神様のレタスは彼女のものよりも大きく、立派に育ちました。彼女は、神様のレタスを自分のものよりもはるかに高値で売りました。サロメは、彼女の什一を、神様の列だと決める代わりに、全体の売却値に基づいて計算し直すという悪魔の誘惑を感じました。しかし彼女は、神様のレタスから得たお金をすべて神様に献げようと決心しました。

次の季節の時にも彼女は再び、畑について以前とまったく同じように植えました。しかしこの度は、神様のレタスは彼女のものよりも小さかったのです。サロメは、神様に対する彼女の忠実さに対して、神様が彼女を祝福してくださったのだと感じました。彼女は、神様の部分に加えて、自分の部分の収穫から感謝献金をたくさんお献げしました。

神様は、わたしたちが神様に忠実であるとき、わたしたちを祝福なさいます。神様に対して不正を働くことによって、わたしたちへの祝福を小さくするようなことがあってはなりません。

すべてを与えられた神へ私のすべてをもって応えよう！

8月4日 サインズ献金

ガンビア - ピーターは、遠隔地にある共同体に教会を新設する、グローバル・ミッション・パイオニアでした。彼と彼の妻は、その地の人々と一緒に生活し、彼らと一緒に食事をし、若者たちが乳牛を飼育するのを助けました。

ピーターは村人たちに、読み書きや基本的な算数の仕方を教えました。それから彼は、教科書として用いる聖書を買いました。村人たちは、胸をわくわくさせていました。

ある日、その地の宗教指導者がピーターに言いました。「あなたほど、わたしたちの村を助けてくれた人は他に誰もいません。わたしには2人の息子たちがいます。わたしの右側の息子は、次の宗教指導者になるでしょう。わたしの左側の息子は、あなたのためにいます。彼をクリスチャンにしてください」。

今日、その村人たちの大部分は、アドベンチスト・クリスチャンです。更に、指導者の息子の1人は、アドベンチストの牧師になりました。ピーターは、イエス様の方法を用いました。彼は、人々と交わり、彼らを愛し、彼らを助けました。こうして友情が育つと、人々は聖書のメッセージを受け入れました。イエスによって用いられた方法は、今日も依然有効です。

わたしたちが定期的に献げる諸献金は、世界中の教会を強くする助けとなります。

すべてを与えられた神へ私のすべてをもって応えよう！

8月11日 支部機関献金

中東 - 接触が困難な地域に住んでいる「ホープチャンネル」の視聴者が、局のウェブサイトに必要なメッセージを送信しました。「ホープチャンネルは、わたしが悲しんでいるときにずっと慰めてくれました。特に、わたしにイエス様を紹介してくれたプログラムにわたしは感謝しています。わたしはまた、聖霊についても学びました。わたしは以前、聖霊の存在を知りませんでした。今は聖霊がわたしを慰めているお方であることを知っています。聖霊は、わたしがどこに行くにも、わたしと一緒にいてくださることを、わたしは知っています。

「わたしは、イエス様を信じていない人々の間で生活しています。もしも彼らが、わたしがイエス様をわたしの救い主として受け入れたことを知ると、彼らはわたしを殺すかもしれません。それにもかかわらず、わたしは幸福と平安を感じています。わ

たしは、断じて手放すことのない宝物を発見したのです。かつてわたしは非常に臆病でした。しかし今は、何事も恐れません」。

アドベンチスト教会は、多くの伝道方法-教育、社会奉仕、ラジオ・テレビ放送、-その他もっと多くの方法を通して世界を祝福しています。これらの伝道の働きの多くは、わたしたちの献金からの支援を受けています。イエス様が彼らを愛しておられること、そして、間もなく再臨なさることを、他の人々が聞くことができるように、定期的に惜しみなく諸献金をお献げしようではありませんか。

すべてを与えられた神へ私のすべてをもって応えよう！

8月18日 教育献金

アメリカ合衆国 - ディナは、ユダヤ人の家庭で成長したので、彼女自身の子供たちもユダヤ教の信仰の中で育てたいと願っていました。しかし、彼女が子供たちを、安息日に地域のユダヤ教の会堂に連れて行ったとき、会堂の指導者の一人が、子供たちがけんかをして礼拝を邪魔したことをディナに伝えました。悲しくなったディナは、安息日の礼拝は家庭で行おうと決めました。

それから、1人の友人がディナに、町にあるアドベンチスト・メシアニック・センターについて話しました。ディナは、アドベンチストについて一度も聞いたことがありませんでしたし、メシアニック・センターが何であるかも知りませんでした。しかし彼女は、訪ねてみよう決めました。彼女と彼女の子供たちは、温かく歓迎されました。

ディナは、ラビ・ジェフが提示したメッセージに感動しました。ディナは、聖書についてもっと知りたいと願いました。そこで彼女は、聖書研究クラスに参加しました。

「今、わたしはイエス様がメシアであることを知っています」と彼女は言いました。ディナは、バプテスマを受け、セブンスデー・アドベンチストのベス・エル・シャローム教会に加わりました。「わたしは今、イエス様がわたしの救い主であることが分かったことを、神様に感謝しています」とディナは言っています。

忠実にささげられるわたしたちの諸献金は、人々がどこにいても、その心を探るために用いられるのです。

すべてを与えられた神へ私のすべてをもって応えよう！

8月25日 教会献金

ミャンマー - タングは、人々が最も近い道路に出るまでに何日も歩かなければならないほど隔離された1つの村に住んでいる教師です。この村の人々は、精霊崇拝をしている人たちです。タングは、自称クリスチャンでしたが、聖書についてはよく知りませんでした。

タングの外部の世界との唯一の接点は、彼の短波ラジオです。ある日彼は、アドベンチスト・ワールド・ラジオを発見しました。彼がそれに耳を傾けていたとき、神様の愛が彼の心に触れました。タングは、彼が学んでいたことを、彼の生徒たちに伝え始めました。彼は、彼がラジオで学んでいた歌やイエス様についての物語を教えました。子供たちは彼らの両親たちに伝え、両親たちは神様についてもっと多く知りたいとお願いしました。神様へのタングの熱意は、どんどん湧き溢れてきました。彼は、ラジオ局に手紙を書いて、イエス様について人々にもっと多くのことを教えるために誰かに来て欲しいと頼みました。村人たちが待っている間は、タングのラジオと聖霊が、彼らの教師です。

神様は、キリストの福音を、飢えている魂に伝えるために沢山の方法を持っておられます。神様の什一とわたしたちの諸献金とは、世界中のすべての形の伝道を支援しています。

すべてを与えられた神へ私のすべてをもって応えよう！

9月1日 教会献金

ホンジュラス - ジュリア・ロドリゲスは、彼女の友人ティナが彼女に与えた「サインズ・オブ・ザ・タイムズ」誌に対して、ティナに感謝しました。ジュリアは読むことができませんでしたが、彼女は夫に自分のために読んでくれないかと頼みました。彼は同意しました。ティナは、この夫婦を訪問し、彼らのために聖書を読んであげました。やがて、この夫婦と彼らの娘がバプテスマを受けました。彼らは、彼らの村に住む唯一のアドベンチストたちでした。

ジュリアは、聖書ガイドを暗唱し、聖書研究に関心を持つ人々を探して、一軒一軒訪問しました。やがて、彼女と研究した30人の人たちがバプテスマを受けました。

ジュリアは、神様の呼びかけに応える必要がある人々を捜して、山の小道を歩き続けています。彼女は、依然として字を読むことはできません。しかし彼女は、聖句を引用し、彼女が愛している真理を通して彼らを導き、人々が彼らの聖書に従うようにと招いています。

彼女の熱心な祈りと懸命な働きを通して、ホンジュラスの中の、彼女の住む小さな村にあるジュリアの教会は、成長し続けています。

人々がイエス様を見出し続けることができるように、わたしたちもジュリアのように、献身しようではありませんか。

すべてを与えられた神へ私のすべてをもって応えよう！

9月8日 世界伝道献金

緊急援助資金 - ルワンダにおける全国的な大規模な伝道講演会を行った後、110,000人以上の人々が神の愛のメッセージに応え、バプテスマを受けました。この空前の反応は、教会指導者たちに難しい問題を残しました。彼らは、新しい信者たちのための十分な教会を持っていませんでした。また、必要を満たすお金もありませんでした。この緊急の必要に応えることに失敗するという事は、多くの新しい信者たちを彼らの以前の生活へと逆戻りさせるかもしれないことを意味しています。

福音に対するルワンダの人たちの空前の反応のように、予期しない伝道の機会を神様がお示しになるとき、教会はその必要に応えるために迅速に行動しなければなりません。

緊急援助資金は、これらの独特な機会に対して迅速に対応するために、設立されました。集会が終わってからちょうど1か月が過ぎてから、1,000の新しい教会建築の働きが始まりました。しかし、もっと多くの教会が必要なのです。

忠実な管理者の務めを果たすことによって、福音のみ業を迅速化する働きに、あなたの受け持つ部分を実行なさいませんか。わたしたちの忠実で定期的な献金は、他の事柄と共に、世界伝道予算を通して、緊急援助資金に対応する資金を作ることになるのです。

すべてを与えられた神へ私のすべてをもって応えよう！

9月15日 教育献金

ソマリア - アウイルは、戦争で破壊されたソマリアから逃げて、難民として近くの国で生活しました。ある日、彼の兄が彼を訪問するためにやって来ました。アウイルはそのとき、彼の兄がクリスチャンになっていたことを知りました。アウイルは、キリスト教についてほとんど何も知らなかったので、兄の証に興味を持ち、深く耳を傾けました。彼の兄は、ソマリアにいる家族を訪問するために出発しましたが、国境で集中攻撃を受けて殺されました。アウイルは兄の死によってうちひしがれていました。兄の持ち物の中に、彼は1冊の聖書を見つけました。彼はそれを読み始め、クリスチャンの神様は真の神様であることに確信を抱くようになりました。ある日、アウイルは、ソマリア語のキリスト教ラジオ番組を聞きました。彼はそれをいつも続けて聞くようになり、アドベンチスト・ワールド・ラジオによって提供されている聖書通信講座を申し込みました。やがて彼は、バプテスマを受けました。

アウイルは、ソマリア語放送のためのラジオの脚本を書き始めました。兄がソマリアへの不運な旅の際に残した聖書が、アウイルの人生に神が触れる手段となりました。そのことを知ったときの兄の喜ぶ顔が見たいと切に願っています。

神様は、誰かをキリストに導くために、どんな事柄でも、また、どんな人でも用いることができになります。神様の仕えを忠実にお返しし、諸献金をお献げすることによって、わたしたちは世界中の多くの伝道のための資金を提供しているのです。

すべてを与えられた神へ私のすべてをもって応えよう！

9月22日 教会献金

ウクライナ - 1人のアドベンチストの女性は、彼女の隣人を訪問し、一軒の家の玄関のベルを押しました。すると怒った女性がドアを開け、「なぜわたしの玄関のベルを押したのよ」と叫びました。

「すみません」とそのアドベンチストの女性は謝りました。「わたしはこの読み物をあなたに差し上げ、あなたを励ますためにやって来ました。あなたと一緒に祈りしてもいいですか？」

怒っていた女性は落ち着いて、この訪問者を中に招き入れました。家の中では、いくつかの蓋が開けられた薬ビンが置かれている床の上に、別の女性が座っていました。訪問者は、2人の女性が自殺しようとしていたことが分かったのです！この訪問者は、キリストを信じる自分の信仰を伝え、自分たちの問題を神様に委ねるようにと、彼女たちを励ましました。

怒りながらドアを開けたあの女性は、「神様があなたをわたしの家に送ってくださったのだと、わたしは思います。わたしたちのためにどうぞお祈りください」と言いました。

この訪問者は、この女性と一緒に祈りました。そして、神様にとって大き過ぎる困難な問題は存在しないことを彼女たちに確信させました。3人の女性たちは、神様がタイミングよく与えてくださった機会を喜び、友人として別れました。

それから数か月後、このアドベンチストの女性は、この2人の女性が自分たちの心を神様に献げたこと、また現在は、他の人々に彼女たちの信仰を分け与えていることを知りました。

神様は、神様の愛を他の人たちに伝えるために、わたしたちの献金と共に、わたしたちの時間をも献げるようにと、わたしたちを招いておられるのです。

すべてを与えられた神へ私のすべてをもって応えよう！

9月29日 メディア伝道献金

ブラジル - フェルナンドは、ブラジルのスラム街に住んでいます。彼は学校や近隣でしばしば問題を起こしていました。かつて、大胆にも彼は動いているトラックの後ろをつかみましたが、落下し、危うく死にかけました。多くの人々は、フェルナンドはどうしようもない人間だと言いました。

あるとき、1人の隣人がフェルナンドをパスファインダーに出席するよう招待しました。フェルナンドは出席し、パスファインダーが好きになったのです！やがて彼の母親は、フェルナンドの態度が良くなっているのに気付きました。問題を起こす度に学校から呼び出されていた回数は、少なくなりました。彼の母親は嬉しくなりました。しかし、フェルナンドがバプテスマを受けたいと言われたとき、彼の母親は躊躇しました。その夜、フェルナンドの母親は、神様が彼女の息子の人生に働きかけておられるので、彼が神様に従うのを止めてはならないという夢を見ました。

彼がバプテスマを受けてから間もなく、「どうしようもない人間」だと多くの人々が呼んでいたこの少年は、彼の両親を主に導きました。パスファインダーが、フェルナンドと彼の全家族を永久に造り変えたのでした。

パスファインダーや他の青少年向けの教会活動は、青少年たちを救い、神様が青少年たちを導かれたその道に彼らをとどまらせる助けとなることが実証されている素晴らしい伝道方法なのです。

すべてを与えられた神へ私のすべてをもって応えよう！

10月6日 教会献金

フィジー - フィジーで伝道集会を開催していたスカ牧師は、チームが期待していたよりも出席者が少ないことが分かりました。その時彼は、集会が人気のテレビ番組と同時間であることを知りました。チームは、神様のメッセージが人々に届くようにと神様の導きを祈りました。

次の日の夕刻、スカ牧師は、近くの家の間を人々が走って行き来しているのに気がきました。彼が後で分かったことは、伝道集会のPAシステムが地方テレビの受信を妨げていたようで、テレビ番組を見ようとしていた人々は、その代わりに伝道集会のお話を聞いていたのです。人々は、怒るよりも困惑していました。スカ牧師が調べたところ、放送機能に異常はありませんでした。

同じことが次の夜にも起こり、伝道集会の開催中も引き続き起こりました。テレビ番組との対立がないので、人々は伝道集会に出席し始めました。近くの村々の人々もテレビで伝道集会のことを聞いて、やって来ました。

神様の「介入」の結果、この地域に住むおよそ100人の人々がバプテスマを受けました。

神様は、人々をキリストのもとに連れて来るために、多くの方法を創造なさいます。わたしたちの献金は、伝道を可能にする助けとなります。

すべてを与えられた神へ私のすべてをもって応えよう！

10月13日 信徒子女奨学金献金

出エジプト20:15「盗んではならない。」

中国 - リンがクリスチャンになった時、彼女は、聖書研究と礼拝のために人々を自分の家に招待し始めました。彼女のグループは、およそ100人まで成長し、警察が注意を払うほどになり、警察は投獄すると彼女らを脅しました。グループの半数の人々は出席することを止めましたが、他の人々は離れることを拒みませんでした。

警察は、告発しないままリンを投獄しました。彼女は聖書を持つことを許されなかったため、彼女の夫は聖句を厚手の布地に書いて、それを彼女に送りました。リンが、自らの信仰を他の囚人たちに伝えたので、すぐに囚人たちの多くがイエスを彼らの救い主として受け入れたのです。そこで警察は、リンが囚人全員を回心させることができないようにと、彼女を早急に解放したのです！

間もなく、リンの信者のグループは、再び彼女の家に集まりました。警察は家の教会や小グループをやめさせようとする態度を変えはしませんでした。リンを投獄しても彼女の信仰を止めさせることはできないことを悟りました。というのは、彼女が牢獄の中においてさえ、神様への彼女の愛を他の人たちに伝えるからです。

わたしたちは、他の人たちのところへ行き、祈り、更に献金することによって、わたしたちの信仰を伝えることができるのです。

すべてを与えられた神へ私のすべてをもって応えよう！

10月20日 教育献金

ガーナ - 仲間の数人の同業者たちが、225マイル離れた場所での葬儀に彼らを同乗させるようにと頼まれたとき、ラファエルは新しく信者になったばかりでした。ラファエルは、同意しました。彼らが出発する前に、ラファエルは安全のために祈りました。ところが彼の仲間たちはそれを笑いました。

途中の道路はでこぼこ道で、ラファエルはしばしば祈りました。彼の友人たちは彼をあざ笑いました。突然車は、道路からはみ出て止まりました。フロントの右の車輪がはずれてしまったのでした！

男たちは、車を修繕する部品を見つけることができなかつたので、車を持ち上げ、車輪をもとの場所へおさめました。ラファエルは、その車輪をナイロンの紐で結びました。彼は再び安全を求めて祈りました。この時ばかりは、男たちが彼を嘲笑うことはありませんでした。彼らは、ゆっくりと道路を下り始めました。

彼らは、車を修繕できる機械工を見つけることができなかつたので、葬儀が終わった後もロープで縛った車輪と多くの祈りによって、およそ350マイルの道を運転して帰宅しました。

ラファエルの仲間たちは、もはや彼を嘲笑しませんでした。ある者たちは、宗教について彼と真剣に話しました。神の奇跡は、ラファエルの信仰を強め、神の力と祈りの効果を他の人たちに示しました。

わたしたちは、神様がある人たちの心に触れる方法を知り、人々をご自身に導かれることを喜ぶことができます。神様は、わたしたちが、世界中の神様の働きを支えるために、神様の仕へをお返しし、喜んで諸献金をお献げすることによって、神様の共労者となるようにと、わたしたちを招いておられます。

すべてを与えられた神へ私のすべてをもって応えよう！

10月27日 教会献金

ロシア - ジョディとグレッグは、ロシアの最北部地方で、英語を教えました。彼らの生徒の一人、アレクサンダーは神よりも論理学を信じ、彼らと公に議論していました。ある日、アレクサンダーとジョディは、建築中のアドベンチスト教会の近くを歩いて通り過ぎていた、ジョディは「今年は、雪が降るのが遅いわ。屋根が出来上がるまで神様が雪を降らせないでくださいと、信者たちが祈っていたからだわ」と言いました。アレクサンダーは、雪が降るのが遅いのは、単なる偶然だと主張しました。

ジョディは、優しく応答しました。「神様が本当に存在しておられること、そして神様はわたしたちを御心に留めてくださることをあなたに証明するために、雪を降らせないでくださいとわたしはお祈りしています」。雪は、屋根が完成するまで、更に2週間降りませんでした。完成した翌日、2フィートの雪が降りました。

「分かったよ。先生の勝ちだよ」とアレクサンダーは言いました。ジョディは微笑みながら言いました。「違うわ。神様が勝ったのよ」。

それから数ヶ月後、アレクサンダーはバプテスマを受けました。神様が雪を止めてくださった同じ教会堂で。

神様は、常に忠実なお方です。わたしたちはどうでしょうか。神様の仕えを忠実にお返しし、定期的に諸献金をお献げすることによって、わたしたちは全世界の神様の働きを支えているのです。

すべてを与えられた神へ私のすべてをもって応えよう！

11月3日 教会献金

カンボジア - サヨーンは、衣服工場で長時間働いて、月に15ドル稼ぎました。彼女がクリスチャンになり、神様が弟子たちに彼らの収入の十分の一を神様にお返しするように求めておられることを学んだとき、彼女は助けを求めて神様にお願いしました。「主よ、もしもあなたがわたしの収入の10パーセントを求めておられるならば、どうぞわたしのために、より良い仕事を見つけてください」。神様は祈りに応えてくださいました。彼女が神様の什一を忠実にお返ししたとき、彼女の給料が増えたのです。

彼女の仕事は、週に7日間働くことを彼女に求めました。彼女が安息日について学んだ時、彼女はパニックになりました。彼女の給料は、彼女の働いた日数に従って支払われていたので、もしも彼女が給料の多くを失えば、生活できるかどうか分かりませんでした。彼女は、安息日に働こうと決めました。しかし、彼女の職場で使っている針が何度も折れたので、その日は1セントも稼ぐことができませんでした。彼女は、神様に赦しを求め、安息日に仕事をしなくて良い仕事を与えてくださいとお願いしました！神様は、彼女の祈りにお応えになりました。彼女は現在、彼女が7日間働いていたときよりも、6日間働いているときの方がより多い給料を頂いています。

「神様は本当に素晴らしいお方です」と彼女は言い、「神様がわたしたちを養ってくださることを、わたしたちはすべての人に告げなければなりません」と彼女は述べています。

わたしたちの献金が、まさにその働き、つまり、神様は素晴らしいお方で、わたしたちのために最善を願っておられることをすべての人に告げる働きを助けているのです。

すべてを与えられた神へ私のすべてをもって応えよう！

11月10日 年末犠牲献金-グローバルミッション

世界総会、アドベンチスト・ミッション部による奨励文

ナイジェリア - オニファージェと彼の3人の友人たちは、ナイジェリアの南西にある都市で働いている、グローバル・ミッション・パイオニアです。毎日彼らは、都市の中の異なる場所で働いています。その場所で彼らは、人々に会い、できる時には食物を分け与え、病気や怪我をした人々が医学的治療を受けるように助けています。また彼らは、イエス様の名によって人々を愛し、彼らに仕えるために、イエス様が彼ら

を遣わされたことを人々に告げています。彼らは、その働きを困難に問題に直面しています。彼らは、より多くの聖書や読み物、そして、人々を助けるための医療と農業の基礎的技術を求めています。

イエス様の友人たちを作るための彼らの働きを、神様は祝福しておられます。彼らがこの町に到着したときは、そこにはほんのわずかなセブンスデー・アドベンチストたちが礼拝しているだけでした。しかし、キリストの伝道法に従うことによって、彼らは、強力な信者のグループを立ち上げました。

人々の中にクリスチャンたちがいるのを見ることを、すべての人が喜んでいるわけではありません。神様が彼ら先駆者たちの努力を祝福くださるよう、彼らの働きを通して人々が神様の愛を見ることができるよう、お祈りください。

あなたの定期的で、犠牲的な献げ物は、他のことがらと共に、オニファードのようなグローバル・ミッション・パイオニアたちに、彼らの任地に住む人々に伝えるための非常に必要な支援を提供するのです。

すべてを与えられた神へ私のすべてをもって応えよう！

11月17日 教育献金

インド - ラムは、読書が大好きです。ある日、彼は彼の人生を造り変えた1冊の本を見つけました。その本には、この世界がどのようにして始まったか、また、彼が今まで知っていたどのような神とも異なる神を描いている、胸をわくわくさせる物語が書かれています。その本は、聖書でした。

ラムは、聖書について友人たちに話しました。しかし、ほとんど誰も聖書についてこれまで聞いたことがありませんでした。聖書は、国民の宗教を強いて変更させるために、外国人たちによって書かれた本だとさえ言った友人たちも何人かいました。

好奇心を抱いたラムは、彼の町に宣教師を探しましたが、1人もいませんでした。そのとき、1人の見知らぬ人が彼の店に近づいてきました。ラムは、その人がもしかしたら宣教師ではないかと考え、その人に尋ねました。

「はい、そうです」とその人は答え、ラビという名前だと自己紹介をしました。ラムは、彼の発見と彼が神様を求めていることを話しました。ラビは、遠くに住んでいましたが、もう一度帰って来てラムを訪ね、彼にもっと多くのことを教えましょうと言いました。やがてラムは、イエス様を彼の救い主として受け入れました。彼は、自分の店を閉じて、彼の新しい友人であるイエスについて人々に教えるほどに熱心でした。今日、ラムは、彼の以前の店からあまり遠くない場所で、新たに信者となった人々の小グループを育てている、グローバル・ミッション・パイオニアです。

神様の仕えを忠実にお返しし、わたしたちの諸献金をお献げすることによって、わたしたちは、世界中で以前伝道されていなかった場所で働いている、ラビやラムのような牧師や信徒伝道者たちを支援する助けをしているのです。

すべてを与えられた神へ私のすべてをもって応えよう！

11月24日 教会献金

パプアニューギニア - 何週間にもわたって、2つの村からやって来た兵士たちが、家々を焼き払い、収穫物を破壊し、人々を殺害して、山岳地帯に住む人々を恐怖に陥れました。

戦闘している部族の間に位置している村は、最も大きな苦難に遭いました。村人たちは、命を失うことを恐れてその地域から逃れました。しかし、若いアドベンチストであるアロは、大切な小さなアドベンチスト教会を守るために、身を潜めて村にとどまりました。

ある日アロは、戦闘員が進軍している音を聞きました。彼は、戦闘員たちが、松明をかざして教会に向かって来るのを見ました。彼は、兵士たちがこの教会を焼こうとしていることが分かりました。アロは、ひざまずいて神様の助けを祈りました。

突然、蜂の大群が巨大な雲のように兵士たちに向かってきたので、空が暗くなりました。兵士たちは、襲ってくる蜂たちを激しくたたきながら、藪の中に逃げ込みました。

蜂の戦士の大群が、アドベンチスト教会を救ったという知らせが、パプアニューギニアの高地一帯に広まりました。信者たちは帰ってきて、賛美の礼拝を開催しました。

「神様は、わたしたちの教会を救うために、蜂の姿で神の天使たちを送ってくださったのだ！」と彼らは宣べ伝えました！

わたしたちが、神様の仕えをお返しし、わたしたちの諸献金をお献げすることによって神様を崇める時、神様はわたしたちのために闘ってくださるのです。

すべてを与えられた神へ私のすべてをもって応えよう！

12月1日 教会献金

カメルーン - モイセは、独身者で彼の母親と一緒に生活していました。彼は、カメルーンでタクシーの運転手として生計を立てています。1人のアドベンチストの友人は、しばしば神様について彼に語りました。モイセは安息日の重要性を理解し始めた時、土曜日にタクシーを運転するのを止めました。彼は、教会と伝道集会に行き、そこで自分の人生をキリストに献げました。

モイセの母親は、彼がアドベンチストになりたいと言ったとき、反対しました。そして、彼がパプテスマを受けた時、母親は家を出て行くようにと彼に命じました。モイセは、家を出てタクシーの運転手を辞めて、文書伝道者になりました。他の人々に神のメッセージを伝える彼の情熱は人々へ広がって行きました。彼の母親が彼の人生をいかに神様を変えているかを見たとき、彼女はアドベンチスト教会に出席し始めました。

神様は、モイセに牧師になるために備えるようにと招かれました。彼は現在、教会の献金の支えを得て新設された、カメルーンのコセンダイ・アドベンチスト大学で学んでいます。

アフリカ及び世界中の新設されたアドベンチスト大学は、強く成長するためにわたしたちの支えを必要としています。わたしたちの忠実な献金は、伝道と教育を通して、神の働きを更に進展させる助けとなっているのです。

すべてを与えられた神へ私のすべてをもって応えよう！

12月8日 アイアス/教育伝道特別献金

インドネシア - 「お前がクリスチャンになることを、わたしは断じて許さないぞ！」とソフヤーンの父親は、彼に向かって怒鳴りました。

1人の友人が、教会に出席するようにと、ソフヤーンを招待していました。ソフヤーンは出席することに同意しました。牧師は、ヨハネ3：16を読み、神の愛について説教しました。神様がわたしを愛しておられる！とソフヤーンは考えました。彼はもっと知りたいと神を求めました。ソフヤーンが教会に出席したので、とうとう彼の父親がそれを見つけ、ソフヤーンをクリスチャンの友人たちから遠く離れた島に追いやってしまいました。

ソフヤーンは、彼の家族の伝統的な聖なる書物を慰めのために読みました。彼は、第7日目が神の聖なる日であることを読んで驚きました。興奮したソフヤーンは、第

7日目を聖なる日として守っているクリスチャンを探しました。やっとのことで彼は、安息日を守っている1人の男性を見つけました。ソフヤーンは、神を礼拝し、神の安息日を清く守っている人々を見つけて満足するまで、多くの質問をこの男性に問いました。ソフヤーンはこの男性と一緒に聖書を学び、バプテスマを受けたいと願いました。ソフヤーンは、牧師となって、彼の町の人々に、神と神の御子イエスについてもっと教えるために、現在準備をしています。

聖霊は、世界中の人々の心に語りかけておられます。わたしたちの献金は、神の真理と愛のメッセージについてもっと多く人々に教えるための手段を提供するのを助けているのです。

すべてを与えられた神へ私のすべてをもって応えよう！

12月15日 教育献金

チリ - レネとヨセは、そこに住む人々に神様の愛を伝えるために、チリの隔離された地域に旅行しました。彼らは、その地域に教会を設立したいと願っていました。ある日、2人は道路脇で休もうと止まりました。レネは、ギターを取り出し、2人は歌い始めました。

1人の女性が彼らに近づいてきました。「あなたがたは、わたしの祈りに対する答えです！」と彼女は目に涙を浮かべて言いました。「今朝わたしは、イエス様についてわたしに話すために、神様が誰かを送ってくださるようにと祈りました。神様があなたがたを送ってくださったのです」。数分後、別の女性がこのグループに加わりました。「わたしのためにも祈ってください」と彼女は言いました。

2人の男性は、この地域で多くの友人たちを作りました。彼らは、教えと祈りのために果樹園で集会を始めました。そして、大勢の人々がやって来たので、もっと多くのベンチが必要となりました。一層多くの人々が礼拝のためにこのグループに加わりました。冬が近づいたので、1人の女性は、自分の小さな家を集会のために開放しました。今日、およそ25人の人たちがこの村で一緒に礼拝しています。そのうち12人は既にバプテスマを受けました。このすべてのことは、幻と歌とで始まったのでした。

神様は、神様を求めている人々に達するために、多くの手段を持っておられます。神様は、祈りと、神様の仕えをお返しし、わたしたちの諸献金を献げることを通して、神様の御事業の共労者となるようにとわたしたちに求めておられます。

すべてを与えられた神へ私のすべてをもって応えよう！

12月22日 教会献金

インド - シングと彼の妻は、彼らの農園に、2,500株のキャベツを植えるために日々働いてきました。土地は、非常に乾燥していたので、キャベツの株はすぐにしなび始めました。雨が降らなければ収穫はまったく望めませんでした。

夫婦は、どの神様がキャベツを救うために雨を求める彼らの祈りに応えてくれるだろうかと考えていました。そのとき、シングは、クリスチャンの神様が全能の神様だと誰かが言っているのを聞きました。そこで夫婦は、雨を求めて、未だ見たことのない神様に祈りました。

その夜、雨が降りました。翌日、彼らのキャベツ畑の上にだけ雨が降っていて、その村の他のどの場所にも降っていなかったことを彼らは発見しました。シングはクリスチャンの神様に従おうと決心しました。しかし、彼は神様をどのようにして拝んだらいいか、知りませんでした。シングが、1人のアドベンチストの牧師に出会ったとき、「クリスチャンになるために、わたしは何をすべきでしょうか？」と尋ねました。牧師は夫婦に、キリストに従うことの意味を教え、2人はバプテスマを受けました。

他の村人たちがこの奇跡の雨のことを知り、ある人たちは、祈りを聞き、それに応えてくださる神様についてもっと知りたいと求めてきました。

わたしたちが神様の仕えをお返しし、わたしたちが愛の献げ物をするとき、神様の忠実さを試すようにと神様はわたしたちを招いておられるのです。今日の献金は、教区、教団の必要のために用いられます。

すべてを与えられた神へ私のすべてをもって応えよう！

12月29日 メディア伝道献金

オランダ - キングスレイは、クリスチャンでした。しかし、彼の人生において何かが出来ていませんでした。彼は、神様の真理を彼に示して下さるようにと神様にお願いしました。キングスレイには1人のアドベンチストの友人がいました。その友人が、彼を教会に招待しました。しかし、土曜日は彼にとって忙しい仕事日でした。ある日、キングスレイが友人の家に行ったとき、1冊の赤い聖書を見つけました。彼はそれを開いて、質問と解答の欄を見つけました。彼は、このような聖書が欲しかったのでした。友人は、伝道講演会に出席していたときに、その聖書を頂いたことを彼に伝えました。

キングスレイは、集会に出席することに関心はありませんでした。しかし数週間後、友人が連続伝道講演会に彼を招いた時、キングスレイは出席しました。ただ聖書が欲しいがために出席したのです。これらの集会で彼は、非常に多くのことを学び、自分の人生に何が欠けていたのかを発見しました。彼は、欲しかった聖書をもらうことは出来ませんでした。もっと良いものをたくさんもらいました。彼は神の真理を見出したのでした。彼が赤い聖書を欲しがっていたことを牧師が知ったとき、牧師は彼の

ために赤い聖書を手に入れてくれました。「わたしはこの聖書を宝物だと思っています」とキングスレイは述べ、「しかし、わたしは、わたしの主をもっと大切な宝物だと思っています」と言いました。

わたしたちの諸献金は、世界中とわたしたちの国での伝道の資金となります。誰かが神様の召命にあずかることを待っておられます。わたしたちはそれを実現させることができるのです。

すべてを与えられた神へ私のすべてをもって応えよう！